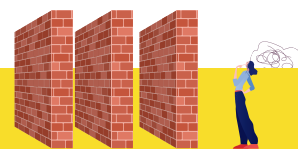


外国人とともに進める 地域防災のヒント



災害時における外国人にとっての**3つの壁**



1つめの壁「言葉の壁」

「避難」という言葉がわからない

外国人のみなさんの多くから、「『避難』という言葉がわからない」という声を聞きます。

「停電」「高台」「土砂崩れ」など、普段私たちがあまり使わない災害発生時の言葉はわからない場合があります。

「ヒナン」ってなに？



2つめの壁「こころの壁」

日本で起きる災害を知らない

日本に住む外国人のみなさんの中には、地震が起きない国・地域から来た人たちもいます。そのような人たちにとって、「地震は地面が揺れてとても危ない」と言葉で伝えても、なかなか想像することができません。そのため、大きな地震が起きたときに大変驚き、パニックになってしまうかもしれません。

また、紛争地域から来た人は、災害救助のために現れた自衛隊員を見て「戦争が始まった」と誤解してしまうケースもあります。このように、外国人のみなさんの中には、生まれ育った背景や、地震や風水害によって引き起こされる災害について知らないことを理由に災害発生時に混乱する人やどのように行動すればよいかわからない人が少なくありません。

「地震」「台風」ってなに？



3つめの壁「制度の壁」

災害が発生した時に利用できる場所や制度を知らない

外国人のみなさんの中には、地震や風水害で被災したときに「避難所」に行くことができることを知らない、「避難所」がどこにあるのかわからないという人が少なくありません。「避難所」について知っていても「ここは日本人だけが使うことができる場所」だと思い、入ることができない人もいます。避難所へ避難できた場合も、避難所での決まりや、食料・支援品の受取り方法がわからない人もいます。

「私は外国人だから・・・」





災害時における

外国人の不安

(一例です)

- 避難所ってなに？
- 一番近い避難所はどこ？
- 外国人も避難所に行っているの？
- 避難所はお金がかかるの？
- 日本人だけのところに入ることが不安
- 日本語がわからない
- 避難所は何日いていいの？
- 食べ物をもらってもよいの？
- (宗教の理由で)
食べることができないものがある
- (宗教の理由で)
お祈りの場所が欲しい
- 家族やお友だちの分の食料や水も
もらって良いの？



災害時における

日本人の不安

(一例です)

- 一度にたくさんの外国人が避難所に来たら
どうしよう？
- 避難所カードは記入できるかな？
- 避難所の過ごし方や決まりはわかるか
な？
- 避難所の案内ができない
- (宗教の理由で)
食べることができない人はどうすれば
いいのかな？
- 言葉が伝わらないかもしれない
- 質問されても答えられないかもしれない
- 非常食をたくさん持って行ってしまおう
人があるかもしれない

日本人と外国人が **ともに** **お互いの不安** を解消し **災害** を乗り越えるための **ヒント**



地域で暮らす外国人ってどんな人たち？

- お互いを知ることが安心につながるかもしれません -

- 在住外国人は、やさしい日本語で話せば通じる人が結構います
- 日頃から、近所に住む外国の人と顔がわかる関係になっておく
- 外国人の文化や背景を知っておく
(地域に多く住む外国人のことから少しずつ)
- 外国人に自分たちのことを知ってもらう



平常時から発災時に活用できるツールを試してみよう！

- 次のページをチェック！ -



ちょっとした声かけが大きな力になります

- 「声かけ」 = 「あなたを心配しています」 -

- 災害時、日本人からの「大丈夫ですか」の一言で多くの外国人
のみなさんが安心できます



災害時に力になりたいと思っている外国人は多い

- 「外国人 = 助けてあげる人」？ -

- 外国人は支援者側になれる人もいる (言葉、知識、特技)
- 手伝いたいけれど、迷惑になるのではないかと思い申し出を
躊躇してしまう

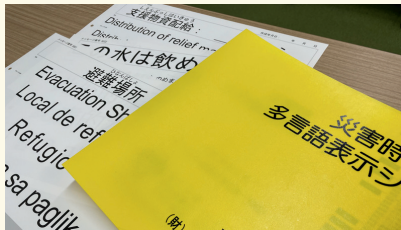


「言葉がわからない」を解決できるツールの紹介

避難所の案内を多言語で表示

災害時多言語表示シート

<https://dis.clair.or.jp/>



地域防災拠点の備蓄庫に保管されています

日本語ができない人とのコミュニケーションに

VoiceTra

<https://voicetra.nict.go.jp/>

災害用語の翻訳に強い

無料



多言語音声翻訳アプリ
＜ボイストラ＞

VoiceTra



31言語に対応

簡易的なコミュニケーションの手助けに

災害用コミュニケーションボード

<https://safety-net-yokohama.jp/pdf/saigai-board-2024.pdf>



相手に合わせて使う「日本語」

YOKEやさしい日本語

<https://www.yokeweb.com/yasashiihongo/>



参考情報

横浜市外国人災害時情報センター

大規模災害発生時に、横浜市国際交流協会内に設置されます。多言語による相談対応などを行います。こちらのウェブサイトで多言語の情報発信も行います。



<https://www.yokesaigai.com/com>

災害時通訳翻訳ボランティア制度

基本的に、発災時に市・区の災害対策本部の要請を受けて派遣する制度ですが、平常時に地域防災拠点で訓練を実施する際のお手伝いもできます。詳しくはYOKE（045-222-1173）へお問い合わせください。



災害時に使う「やさしい日本語」

「やさしい日本語」ってどんな言葉？

「やさしい日本語」の「やさしい」には、「優しい」と「易しい」の2つの意味が込められています。「書く時」は、文章をわかりやすく書く、漢字よみがなをふるなどの工夫があります。「話す時」は、ゆっくりわかりやすい言葉で話す、相手の話をゆっくり聞く、尊敬語や謙譲語を使わないなどの工夫があります。

外国人だけでなく、子ども、高齢者、障害を持つ人などにとってもわかりやすい点で、さまざまな人に有効な伝達手段です。



災害時特有の言葉を「やさしい日本語」にしてみましょう

どのように言うと、外国人のみなさんにもわかりやすいと思いますか？

- ①避難 ②高台 ③遅延 ④不通 ⑤給水
- ⑥炊き出し ⑦安否 ⑧備蓄庫 ⑨配給 ⑩余震



言い換え例は、このページの下を見てください。

話す時は、相手に合わせて「ゆっくり」「はっきり」「短く」

外国人のみなさんと話すときは、まず相手がどのくらいの日本語を使う人が確かめてください。日本人と同じように話ができる人の場合は、相手と同じペースで丁寧語で話してください。日本語を話し慣れていない人の場合は、相手に合わせて「ゆっくり」「はっきり」「短く」話します。説明が終わる毎に「わかりましたか？」と確認してください。



話しやすい雰囲気を作れずに

外国人のみなさんが日本語を話すとき緊張することがあるという話を聞くことがあります。外国人のみなさんが日本語で話をしようとするときは、「話をしやすい雰囲気づくり」を大切にするとより良いコミュニケーションにつながります。



<言い換え例>

- ①逃げる ②高いところ ③遅れている ④止まっている ⑤水を出す
- ⑥料理した食べ物を配る ⑦安全でいるかどうか ⑧災害の時に使う物を置いておく倉庫
- ⑨食べ物や生活に必要な品物を配ること ⑩大きな地震の後に起きる地震